

令和7年度 第1回 障害者支援施設地域連携推進会議

日 時：令和8年2月20日（金）10：00～12：00

場 所：障害者支援施設笠岡学園（見学）／障害者支援施設笠岡学園相談室（会議）

出席者：構成員：利用者代表 T様、ご家族代表 T様、地域代表 H様、
福祉施設関係 T様、市担当者 F様
事業所職員：管理者・副管理者・課長補佐

1 開 会、日程説明、自己紹介

2 議 題

（1）会議の目的

地域連携推進会議は、施設等と地域が連携することにより、「利用者と地域との関係づくり」「地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進」「施設等やサービスの透明性・質の確保」「利用者の権利擁護」の目的を達成するための、地域の関係者を含めた外部の方が参画する合議体である。

地域連携推進会議を行うことで、事業所のサービスの質が担保され、それにより支援を受ける利用者にとっても良い影響がある。また、地域との連携が深まることで、地域における事業運営がしやすくなるなど、事業所、施設等にとっても大きなメリットがある。さらに、従来から実施している虐待防止研修等の研修や個別支援計画がうまくいっているかを外部の方に見ていただく良い機会だと思っている。

（2）施設内見学

事業所の状況、利用者の日常生活の様子について、会議を始める前に施設内見学を行った。

（3）利用者の日常生活について

【補足説明】

- ・生活介護の1名利用なしは、本人希望で就労継続支援B型事業所に通所している。
- ・短期入所、緊急対応の場合、市町や相談事業所から依頼があった場合は、定員を超えても受け入れをしている。

【質疑応答】

T様（福祉）：箸作業は？委託？

課長補佐：生産活動というよりは1日の流れ、活動を整えるという意味で、箸を入れる人、抜く人に分かれておこなっている。工賃は発生しない。

T様（家族）：同じことの繰り返しで飽きないのか。

課長補佐：施設の生活全般に言えることだが、自閉傾向の方、強度行動障害の方が半数以上いる。この方々の1番不安なことは、見通しが持てないこと。分かる活動は飽きない。同じ活動で見通しが持てる生活を継続すると、自信になるが、ワンパターンになりやすい。これもできるかなと常に考えながら支援している。

T様（家族）：どのような結果を求めるかでやっってもらう作業も違うと思う。

次につながるような作業が次に見つけられるか。こだわりがあるから集中が続けられるのだろうか。

副管理者：日々同じことばかりではなく、それをきっかけに活動を広げていけたらと工夫をしている。こだわりがあるので、同じ題材でも形や色を変えるなど工夫している。こだわりと折り合いをつけ、楽しさ、達成感を持ってもらえるよう日々試行錯誤しながら取り組んでいる。

課長補佐：グループ活動の前提は、生産性を求めるというよりは、1日を通して今はこの時間ということで時間の流れを分かりやすくするためのもの。

(4) 地域とのかかわりについて

【管理者説明】

平成9年6月は70名定員。軽度で能力の高い方もいて地域の活動、金浦地区の運動会にも参加していましたが、高齢化やコロナにより参加が難しくなっている。支援施設は難しくなっているが、法人としてグループホームぽかぽかから数名参加させてもらっている。地域の福祉展に創作物を展示している。今は、学園まつりに地域の方をお呼びして、一緒に過ごして交流する形にしている。以前は生け花希望者やJA婦人部の方が週に1回喫茶をしていたこともあったが、JAの方も高齢化して難しくなり、生け花もコロナがありそれ以降していない。

【質疑応答】

T様（福祉）：学園祭りはコロナの間は？

課長補佐：控えていた。令和4年はマルシェ、令和5年から小規模開催、そして、以前の学園まつりに戻した。

T様（福祉）：案内は？

管理者：手作りのポスターを作成して案内する。

(5) 利用者等の権利擁護の取り組みについて

【管理者説明】

- ・今年度は利用者の人身事故が多くあった。職員が手薄な時に利用者が他者を押すことがあった。事故に限らずヒアリハット等、第三者委員によるリスク管理対応の会議もある。
- ・人権自己チェックリストは職員が取り組んでいる。年度当初に1回、後半に1回する。見直すことが大事。法人の人権チェックリストとして使用している。

【質疑応答】

T様（福祉）：人権チェックリストの「できていない」にチェックする人がいるのか。

副管理者：自分で気をつけようということで「あまりできていない」に自分の反省としてチェックすることはあると思う。

管理者：気になるところでチェックをすることにより、気を付けないといけないということが分かる。無記名で、各部署でまとめて集計される。

(6) その他

最後に、管理者より施設設備、行事等の追加説明を行う。

・親睦会について

管理者：親睦旅行の際、バスの乗り降りがしんどいという声もあったので、今年は、車イス対応のバスを手配した。利用者さんも楽しみにされているし、家族も高齢化しているが、家族との関わりをもってもらいたいのので、できる限り親睦旅行は、続けていきたい。

・訪問歯科について

課長補佐：歯科は元々、協力医療機関に行っていたが、待ち時間等で難しくなり、訪問歯科からお声かけがありお願いした。とてもよい先生。関係性を作りながら、はじめは寝転ぶのも無理だった人が抜歯もできた。

T様（福祉）：訪問歯科は定期的？

課長補佐：定期的。1回9名。

通所の方は、違う歯科医院に来てもらっている。

・訪問理容について

管理者：訪問理容は3回までは事業所負担。3回を超える場合は自己負担。

今は2つの理美容の方に来てもらっている。

課長補佐：2か月に1回。本来は自分の行きたいところに行くのがよいが、このどちらかですということにしているので、3回までは事業所負担でさせてもらっている。

3 閉 会